

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況(腸管病原菌含)

検出菌 ウイルス	2020年												2021年																	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月 ~4日	7月 ~11日	7月 ~18日	7月 ~25日	8月 ~1日	8月 ~8日	8月 ~15日	8月 ~22日	8月 ~29日	9月 ~5日	9月 ~12日	9月 ~19日
カンピロバクター	42	46	55	54	92	177	241	189	97	132	148	125	114	65	137	114	169	115	37	39	30	16	34	18	11	14	8	6	11 (12)	8
病原性大腸菌	22	34	39	30	24	63	60	76	52	42	41	52	39	25	52	61	55	64	24	13	19	7	16	9	2	10	8	7	11 (12)	7
腸管出血性大腸菌	1	0	0	0	1	4	0	2	1	2	0	0	1	0	0	0	1	2	0	1	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0
サルモネラ	4	1	2	4	10	7	14	29	16	10	10	3	6	5	3	1	5	8	4	3	2	1	2	11	1	5	4	0	3	2
黄色ブドウ球菌 MSSA	6	20	11	3	9	15	15	20	13	17	18	12	14	16	33	19	39	25	8	4	3	2	0	4	1	5	5	9	4	2
黄色ブドウ球菌 MRSA	10	11	17	8	14	14	11	17	9	10	11	9	10	10	15	25	31	13	5	6	3	0	5	5	2	5	2	2	2	5
腸炎ピブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	1	1	0	0	7	0	0	0	0	2	1	3	4	4	0	0	0	0	1	0	0	2	1	4	0 (1)	0
ロタウイルス	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	1	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ノロウイルス	10	14	6	1	0	0	0	2	0	0	0	1	4	5	6	11	13	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

* ()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。
* 前回のその他の1件増はアエロモナスでした。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和3年第37週(9月13~9月19日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	4	結核	4			4				
三類	6	腸管出血性大腸菌感染症	6						1	5
四類	3	日本紅斑熱	2			2				
		レジオネラ症	1							1
五類	6	アメーバ赤痢	1					1		
		劇症型溶血レンサ球菌感染症	1					1		
		後天性免疫不全症候群	1					1		
		百日咳	1		1					
		梅毒	2							2
新型コロナウイルス感染症	473	新型コロナウイルス感染症	473	35	25	23	3	281	28	78

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島市、江田島市 西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町 北…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

1 新型コロナウイルス感染症

第34週に281件の報告がありました。報告数は減少が続いていますが、10万人当たりの1週間新規感染者数は23.5人(9月20日発表)と、広島県の警戒基準値(4.0人)を大きく上回っています。マスク着用、手洗い、こまめな換気、外出の半減、体調不良時の早期受診など感染防止対策を徹底し、感染を確実に抑え込みましょう。

2 ヘルパンギーナ

定点当たり1.38人の報告があり、前週と比べてやや減少しましたが、多い状況が続いています。手洗いの励行、オムツの適切な処理など、感染予防対策を心がけましょう。

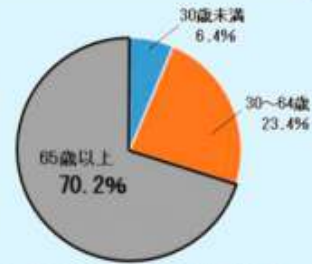
厚生労働省は、毎年9月24日から30日までの1週間を「結核予防週間」と定め、結核に関する正しい知識の普及啓発を図ることとしています。

●結核は、毎年全国で約15,000人の新たな患者が発生しており、決して「過去の病気」ではありません。令和2年に広島市で発生した結核患者は**94名**で、そのうち**約7割が65歳以上**の高齢者でした。

●主な症状は、**長引く咳・たん・微熱、倦怠感(体のだるさ)**で、早めの受診と定期的な健診が大切です。広島市では、65歳以上の方を対象に、無料の**結核健診**を実施しています。特に、高齢者では気付かないうちに進行してしまうことがありますので、自覚症状がなくても、年に**1回結核健診**を受けましょう。

詳しくはこちらをご覧ください！

【参考】結核について(広島市) <https://www.city.hiroshima.lg.jp/soshiki/72/2932.html>



令和2年に広島市で新たに発生した結核患者の年齢別割合

■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)過去5年間	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)過去5年間	発生記号	増減	
												前週と比較しておおむね1:2以上の増減	前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減
フィレン	インフルエンザ	-	-	0.15		小児科	流行性耳下腺炎	1	0.04	0.23		急増減	前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減
小児科	咽頭結膜熱	4	0.17	0.29		眼科	RSウイルス感染症	12	0.50	1.81	↓	増減	前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4	0.17	1.37			急性出血性結膜炎	-	-	-		微増減	前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減
	感染性胃腸炎	63	2.63	4.21	◇	基幹	流行性角結膜炎	6	0.75	0.85		横ばい	ほとんど増減なし
	水痘	1	0.04	0.28			細菌性髄膜炎	-	-	-			
	手足口病	18	0.75	1.44	◇		無菌性髄膜炎	-	-	-			
	伝染性紅斑	-	-	0.18			マイコプラズマ肺炎	-	-	0.09			
	突発性発しん	11	0.46	0.43			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-			
	ヘルパンギーナ	33	1.38	0.55	◇		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-			

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注)過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況(新型コロナウイルス感染症を除く)

類型	疾患名	報告数	累計	備考
5	アメーバ赤痢	1	4	60歳代
5	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	3	40歳代
5	後天性免疫不全症候群	1	4	40歳代・エイズ

■新たに判明した病原体検出状況

(検査：広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	発症年月日	検査材料	検出病原体
流行性角結膜炎	結膜炎 結膜浮腫 瞼結膜の発赤・腫脹 結膜周擁充血	30	2021/04/21	結膜擦過物	アデノウイルス85型
その他の消化器疾患	嘔吐 下痢 腹痛	1	2021/07/12	糞便	アデノウイルス2型
その他の疾患	発熱(38.4℃)	0	2021/01/28	糞便	アデノウイルス53型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載